

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ず商品内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。

商品番号：AE-68144

参考作業時間：30min

ご使用前にお読みください

- ・本製品の取り付けには純正のワークショップマニュアルが必要です。工具等の設備、技術や知識が不十分な場合は専門店へ作業をご依頼してください。
- ・本製品を取り付け使用し、本製品以外の部品に不具合が発生しても保証は致しかねます。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。



⚠️取り付けにあたってのご注意

- ・走行直後は、各パーツが熱くなり火傷の危険性があります、必ず冷えている状態で作業を行って下さい。
 - ・作業は必ず安全な場所でメンテナンススタンド等を用いて車体を安定させ、十分注意して作業を行って下さい。
 - ・メンテナンス不良、取り付け作業上の不備、誤った使用での保証は致しません。
 - ・本製品の取り付け後の返品はお受けできません。
 - ・金属部品のエッジ、角などには注意して下さい。
 - ・部品の曲がり、変形などが発生した場合は速やかに補修を行って下さい。
 - ・組み付け作業を行う際はメーカー発行のサービスマニュアル(整備要領書)を熟読して下さい。
- ※締め付け参考トルクはネジが緩まない事を保証するものではありません。
- ※取り付け後、走行中の振動によって必ずネジは緩みます定期的に点検、増し締めを行って下さい。
- ※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し、カスノモーターサイクル アエラ事業部までご連絡下さい。

アルマイト製品について

- ・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
 - ・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
 - ・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
 - ・アルマイト厚みは、0.005mm～0.02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や乗車時にブーツが擦れる箇所での摩耗し下地のアルミ表面が現れます。
 - ・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分(接点)には色が付かない場合があります。
- 以上はアルマイト処理の性質で避けられない為、クレーム対象にはなりません。予めご了承下さい。

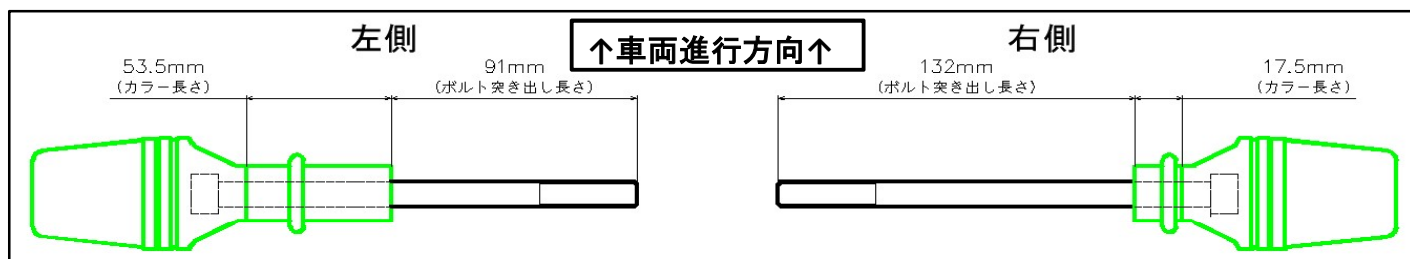
- ・エンジンマウントボルトとナットを取り外します。

！ 注意

エンジンマウントボルトを取り外す際はジャッキ等でエンジンを保持してください。



- ・下図を参照し、フレームスライダーを取り付けます。



- ・キット内の⑦ナットと、①スライダーヘッドの穴より六角レンチ(8mm)を挿入しボルトを規定トルクで締め付けます。画像は左側です。右側も同様に作業を行って下さい。

！ 注意 ナットは必ずキットの付属品を使用して下さい。純正のナットを使用するとネジ部が破損します。

締め付けトルク：44N・m

※ネジ部に焼き付き防止剤を適量塗布してください。

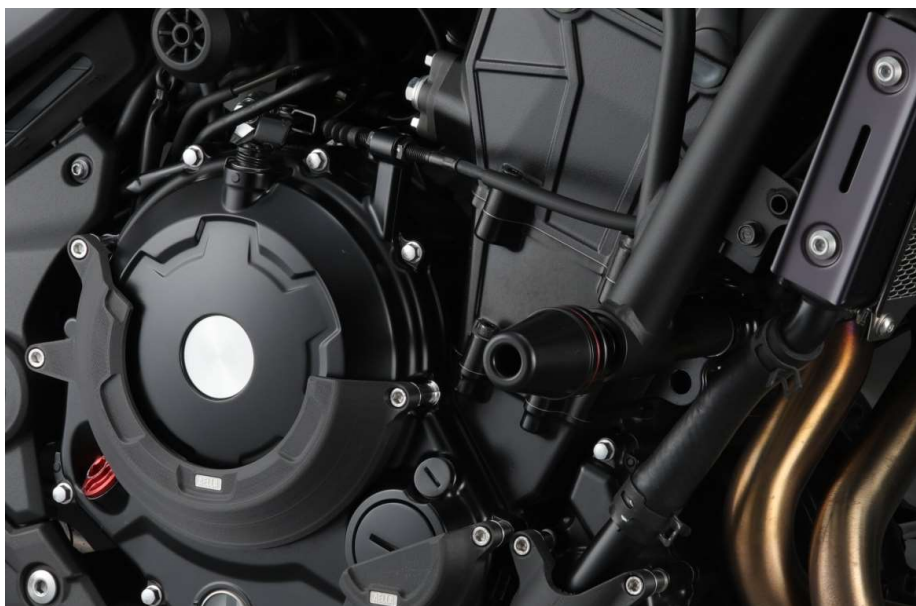


・Oリングがベースカラーの溝部に収まる様に整えてください。



・左右のライダーヘッド側面に開いているφ6の穴にピンポンチを差し込み増し締めして下さい。

※出荷時、ネジロック剤塗布済み。補修等で取り付ける際はアルミベースをベースプレートに取り付けた後ライダーヘッドを手で軽く止まる所まで回し、そこから更に45度程度締め込んで下さい。



・組み立て後、すべての作業箇所にはネジの緩みや誤組み立てが無いか今一度ご確認ください。



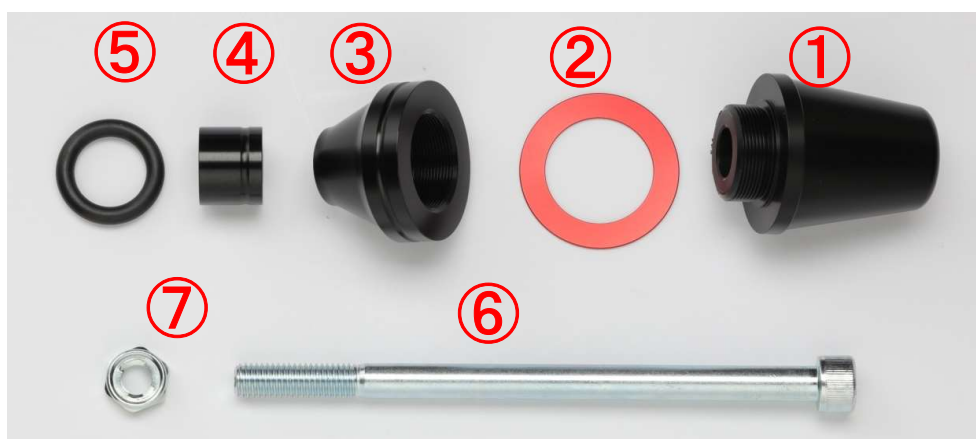
商品の詳細につきましては左記のQRコードを読み込みご確認ください。



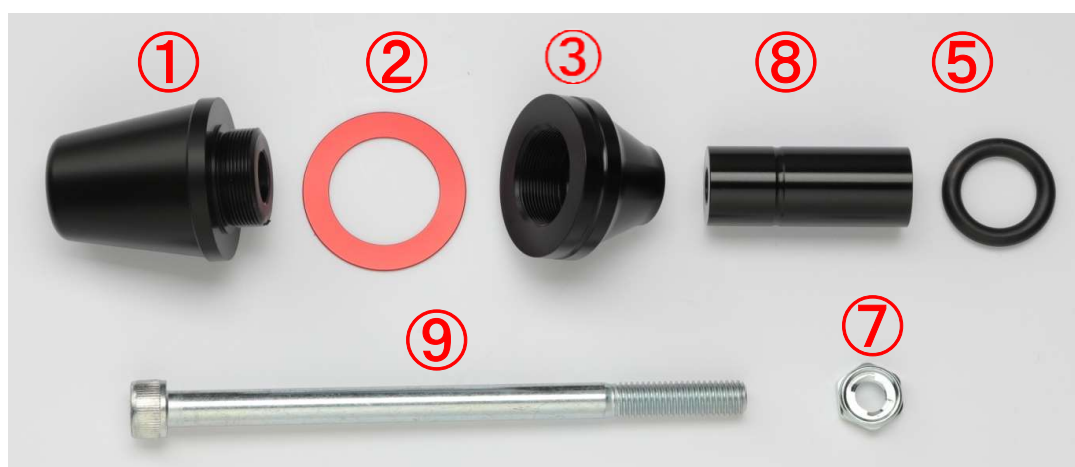
警告

取り付け後、走行中の振動によってネジが緩む場合があります。走行前に点検を行い規定トルクでの増し締めを行って下さい。

分解図 Rh(ブレーキ側)



分解図 Lh(クラッチ側)



No.	パーツ名	数量	備考
1	スライダーヘッド	2	※1 ※2
2	アルミワッシャ	2	※1 ※2
3	スライダーアルミベース	2	※1 ※2
4	ベースカラー-L17.5	1	※1
5	Oリング	2	※1
6	キャップボルト M10/L160	1	※1
7	M10 ロックナット	2	※1
8	ベースカラー-L53.5	1	※2
9	キャップボルト M10/L155	1	※2

※1 ①、②、③、④、⑤、⑥は組み込み済ですので規定トルクで締め直す必要はありません。

※2 ①、②、③、⑧、⑤、⑨は組み込み済ですので規定トルクで締め直す必要はありません。



警告

取り付け後、走行中の振動によってネジが緩む場合があります。走行前に点検を行い規定トルクでの増し締めを行って下さい。

20221014